

感染状況・医療提供体制の分析(9月29日公表)

【岡山県専門家有志】
(東京都統括コメント参照)

詳細



区分	モニタリング項目 公表の前週(月～日)の合計		前回の数値 (9月19日公表) 9月8日～9月14日	現在の数値 (9月26日公表) 9月15日～9月21日	前回との比較	分析コメント	
感染状況	① 定点当たり 患者報告数 (注:報告者数は、県内50定点医療機関において、1週間に診断した患者数。定点当たり数は、1医療機関当たりの、1週間での平均患者数。)	報告数	608人	508人		感染状況 コメント	レベル3. 感染縮小の兆候があるが警戒が必要
		定点当たり数	12.16人	10.16人			
		報告数に占める60歳以上の割合	24.3%	24.4%		定点当たり新型コロナウイルス感染症(COVID-19)報告数は10.16人とやや減少。全国的にも感染者数は減少傾向にあるが、流行は継続している。状況に応じたマスクの適正使用、適切な換気が必要。ハイリスクな方へはうつさないよう配慮を。 COVID-19による入院患者も継続。重症化する患者も継続的に発生。ハイリスク患者は早期診断・早期治療が必要。	
	② 保健所別 定点当たり 患者報告数 (注:定点医療機関は、地域により患者数や患者の年齢構成にばらつきがあり、地域別の単純比較は多少の問題があるが、同じ地域で時系列の変動を見て、流行の推移を見るには有用)	岡山市保健所	10.33人	9.06人			
		倉敷市保健所	12.25人	12.33人			
		備前保健所	13.75人	10.50人			
		備中保健所	16.80人	13.60人			
		備北保健所	20.75人	11.25人			
		真庭保健所	6.50人	7.50人			
	美作保健所	8.00人	5.40人				
入院状況	③ 入院患者数 (入院基幹定点サーベイランスより)		21人	22人		伝染性紅斑が流行している。RSウイルス感染症も増加してきている。	
	④ 人工呼吸器利用 (入院基幹定点サーベイランスより)		0人	1人			

*入院状況については、基幹定点医療機関(5箇所)での入院基幹定点サーベイランスより取得。感染状況コメントの中に、医療提供体制に関するコメントも付記します。